

第7回東北少年少女空手道選手権大会実施要項

(公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 第7回東北少年少女空手道選手権大会
 2 主催 (公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会
 3 主管 岩手県空手道連盟
 4 後援 (公財) 全日本空手道連盟
 5 場所 岩手県営武道館
 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 3-24-1
 TEL 019-641-4577 FAX 019-641-4559

- 6 大会日程 令和元年 6月 22日(土)～23日(日)
 <1日目 形全学年・組手1年～2年男女> <2日目 組手3年～6年男女>

8:00	開場・受付・練習	8:00	開場
8:30	審判・監督会議	8:15	審判打ち合わせ
9:00	開会式	8:50	開始式
9:30	競技開始 形男女	9:00	競技開始 組手男女3年～6年
12:00	昼食	12:00	昼食
12:40	競技開始 組手男女1年～2年	12:40	競技開始 組手男女3年～6年
16:00	競技終了	15:00	競技終了

- 7 種目 小学生1～6年生男子・女子の組手及び形競技各個人戦(人数制限なし)
 8 参加種目 同一選手が形と組手の両種目に重複し出場しても良い。

種目	形競技			組手競技		
選手	男子	1年～6年		男子	1年～6年	
	女子	1年～6年		女子	1年～6年	
監督	監督1名					
コーチ	各チーム必要に応じて置くことができる					

- 9 競技規定
- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟<空手競技規定>により行う。
 - (2) 形競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で2名同時に行うが、決勝戦に限り1名ずつで各コートにて学年別男女別に競技する。3位決定戦は行わない。
 - (イ) 勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
 - (ウ) ベスト16以下は、全空連基本形(ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安、又はピンアン初段～五段)の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
 - (エ) ベスト8以上は、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記(ウ)の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
 - (3) 組手競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。

- (イ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更（短縮）せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
- (ウ) 勝敗は、競技時間内に6ポイントを先取、又は競技終了時に得点の多い方の選手を勝ちとする。但し、競技時間終了時に同点で「先取」がない場合は、審判員の判定により勝敗を決する。

(4) 安全具

- (ア) 組手全種目に拳サポータ（全空連検定小学生用赤、青リバーシブル拳サポータ）、全空連検定メンホーNO.5以上及びボディプロテクター、全空連検定小学生用員ステップガード・及びシンガードを着装すること。
- (イ) 小学3～6年生男子組手出場選手は、必ずファールカップを着装すること。ただし、1・2年生は所属の指導者（監督・コーチ）の判断に委ねる。全選手のマウスピース着装は任意とする。
- (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。

(5) 服装

- (ア) 選手は、競技規定に則り清潔な白の空手衣を着用しなければならない。
- (イ) 金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
- (ウ) 選手は、青帯・赤帯を各自用意し着用する。主催者側では準備しない。
- (エ) 選手の胸マークは学校名又は道場名（（公財）全空連に加盟している流派・会派のマークは認める）であること。又、胸マークが無くても良い。袖の県名表示等は原則として規制しない。度を越え誇張するような表示であれば、審判長の判断で取り外させることができる。

10 表彰

- (1) 優勝者、準優勝者、第3位（2名）まで副賞を添えて賞状を授与し、第5位入賞者には賞状を授与する。
- (2) 入賞者の表彰は、競技の終了した種目から順次行う。
- (3) 表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。
- (4) 各学年種別上位入賞者2名を東北地区強化指定選手として認定

11 審判員

- (1) 大会審判団は、「全空連」公認審判員をもって次により編成する。また、推薦審判員は（定年制65歳以下）とする。
- (2) 主管県を除く各県は、公認全国・地区組手審判員6名を選び、5月20日（月）まで大会事務局経由で大会委員長宛て文書をもって推薦する。
- (3) 主管県は(2)に記載する人数にかかわらず、大会委員長と協議し、その指示により運営上必要な人数を推薦する。
- (4) 大会委員長は、各県から推薦され適当と認められたた審判員をもって、大会審判員を委嘱する。

12 安全対策

- (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
- (2) 参加選手は各自で、又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。
- (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了解ください。
- (4) 監督、コーチ及び選手は、健康保険証を携行すること。

13 出場資格

- (1) 選手は、「全空連」の会員登録者で、公認段位及び公認級位取得者であること。
- (2) 監督、コーチはあらかじめ届出があった者とする。（未成年者は認めない）
監督、コーチは腕に監督の腕章を付けること。

監督、コーチは空手道道着を着用しなくても良いが、監督にふさわしい服装（ジーパン、短パン等は不可）をすること。監督、コーチは引率者を必ず同行し選手管理をすること。

- 14 組合せ抽選 (1) **実行委員会において厳正に行う。**
- 15 出場申込 (1) 選手は、出場費として一種目 2,500 円を納入しなければならない。
(2) 別途定める出場申込書を提出すること（原則として、選手名簿等はエクセルファイルで作成したデータも併せてメール等で提出すること）。
(3) 申込書の送付及び出場費送金先（口座）は次のとおり
(4) **県連事務局が取り纏め一括申込み。** *個人での申込みは受付しません
(5) 参加申込書関係送信先（下記の通り）

oda@sendai-johnan.ed.jp

〔出場費送金先（振込口座）〕

郵便振替	
口座番号	02230-0-82012
口座名義	全空連東北地区協議会

- ◆**出場費は必ず都道府県連盟から一括して振り込むこと。**
- ◆**参加申込後の返金は致しません。**

〔大会事務局〕

〒982-0836 宮城県仙台市太白区八木山松波町5番1号
仙台城南高等学校内「第7回東北少年少女空手道選手権大会」
事務局 織田 達哉 電話 022-305-2111 F A X 022-305-2114

- 16 申込期限 令和元年5月20日（月）（期限厳守）
- 17 宿泊等・弁当 各県連・各道場・学校で対応願います。
- 18 その他 (1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。
(2) 各コートの受付時間に間に合わない場合は、参加できないので注意すること。
(3) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。